

2 琵琶湖流域下水道事業の業務状況

(1) 事業の概要

各市町から流入する汚水を処理すること等により、琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現することを目的として、次の4つの処理区において琵琶湖流域下水道事業を実施しています。

令和元年度からは、地方公営企業法の一部を適用し、公営企業として実施しています。

処 理 区	浄化センター	供用開始	処理区域の存する市町
湖南中部処理区	湖南中部浄化センター 水処理能力（日最大） 294,500 m ³ /日	昭和57年 4月	大津市、近江八幡市、草津市、守山市、 栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東 近江市、日野町、竜王町
湖西処理区	湖西浄化センター 水処理能力（日最大） 52,500 m ³ /日	昭和59年 11月	大津市
東北部処理区	東北部浄化センター 水処理能力（日最大） 120,750 m ³ /日	平成3年 4月	彦根市、長浜市、東近江市、米原市、 愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
高島処理区	高島浄化センター 水処理能力（日最大） 16,400 m ³ /日	平成9年 4月	高島市

※水処理能力（日最大）は令和5年4月1日現在

○事業の実施状況

令和4年度下半期の処理水量（流入水量）は73,765千m³で、前年度同期に比べ975千m³、1.3%の減少となりました。

なお、令和4年度の各処理区の処理水量（流入水量）は、次のとおりです。

（単位：千m³）

	湖南中部処理区	湖西処理区	東北部処理区	高島処理区	合計
上半期分	50,500	8,209	18,592	2,499	79,800
下半期分	45,960	7,423	17,955	2,427	73,765
合計	96,460	15,632	36,547	4,926	153,565

○建設事業の状況

令和4年度下半期は、浄化センターにおける水処理施設の設備改築更新工事および耐震補強工事、流域幹線管渠工事等を上半期に引き続き実施しました。

(2) 経理の状況

○予算の補正の状況

令和4年11月定例会議において、給与費の増加により事業費用を1,794千円増額補正しました。また、企業債の増加により資本的収入を1,900千円、給与費の増加により資本的支出を1,900千円それぞれ増額補正しました。

令和5年2月定例会議において、維持管理負担金の減少等により事業収益を 277,004 千円減額補正し、運転費用の増加等により事業費用を 477,604 千円増額補正しました。また、企業債の減少等により資本的収入を 442,989 千円、工事費の減少等により資本的支出を 484,086 千円それぞれ減額補正しました。

○令和4年度予算の執行状況

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの予算の執行状況は、次のとおりです。

●収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
琵琶湖流域下水道事業収益	20,759,900	—	△ 274,811	20,485,089	20,391,470	99.5
営業収益	8,884,921	—	△ 226,358	8,658,563	8,582,586	99.1
営業外収益	11,841,779	—	△ 15,253	11,826,526	11,808,884	99.9
特別利益	33,200	—	△ 33,200	—	—	—
琵琶湖流域下水道事業費用	20,685,400	—	516,591	21,201,991	20,663,516	97.5
営業費用	19,939,667	—	583,808	20,523,475	20,102,315	97.9
営業外費用	715,333	—	△ 36,817	678,516	561,201	82.7
特別損失	30,400	—	△ 30,400	—	—	—

●資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
資本的収入	9,636,400	4,529,575	△ 441,089	13,724,886	9,794,736	71.4
企業債	2,702,700	1,160,800	△ 230,300	3,633,200	2,571,400	70.8
出資金	842,288	—	49,914	892,202	904,989	101.4
補助金	4,363,856	3,368,775	△ 132,952	7,599,679	4,718,533	62.1
負担金	1,716,956	—	△ 117,199	1,599,757	1,599,766	100.0
固定資産売却代金	10,600	—	△ 10,552	48	48	100.0
資本的支出	11,889,900	6,177,678	△ 482,186	17,585,392	11,629,494	66.1
建設改良費	8,148,682	6,177,678	△ 472,386	13,853,974	7,898,083	57.0
企業債償還金	3,731,418	—	—	3,731,418	3,731,411	100.0
返還金	9,800	—	△ 9,800	—	—	—

(注) 1 補正予算額は、令和4年9月定例会議、令和4年11月定例会議および令和5年2月定例会議における補正予算額の合計額です。

2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○企業債の状況

令和5年3月31日現在の企業債の現在高は、45,337,455 千円です。

○決算の状況

①損益収支

事業収益は、処理水量の減少に伴う維持管理負担金の減少等により、対前年度比 2.5%減の 19,602,394 千円となりました。一方、事業費用は、運転費用の増加等により、対前年度比 1.7%増の 20,002,720 千円となりました。この結果、純損失は 400,326 千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	令和4年度(A)	令和3年度(B)	比 較 増 減	
			(A)－(B)	(A)/(B) %
琵琶湖流域下水道事業収益	19,602,394	20,096,121	△ 493,727	97.5
営 業 収 益	7,810,354	8,056,852	△ 246,498	96.9
営 業 外 収 益	11,792,040	12,038,817	△ 246,777	98.0
特 別 利 益	—	452	△ 452	皆減
琵琶湖流域下水道事業費用	20,002,720	19,674,830	327,890	101.7
営 業 費 用	19,372,557	19,019,602	352,955	101.9
営 業 外 費 用	630,163	652,633	△ 22,470	96.6
特 別 損 失	—	2,595	△ 2,595	皆減
当年度純利益(△は損失)	△ 400,326	421,291	△ 821,617	皆減

②財務状況

令和4年度末の総資産は 271,792,929 千円、負債は 250,920,099 千円となり、資本は 20,872,830 千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	令和4年度	令和3年度	比較増減	科 目	令和4年度	令和3年度	比較増減
固定資産	261,212,892	265,359,367	△4,146,475	固定負債	42,666,020	43,811,218	△1,145,198
流動資産	10,580,037	8,510,246	2,069,791	流動負債	10,921,340	8,535,449	2,385,891
				繰延収益	197,332,739	201,154,779	△3,822,040
				負債合計	250,920,099	253,501,446	△2,581,347
				資本金	3,704,532	2,799,543	904,989
				剰余金	17,168,298	17,568,624	△ 400,326
				資本合計	20,872,830	20,368,167	504,663
合 計	271,792,929	273,869,613	△2,076,684	合 計	271,792,929	273,869,613	△2,076,684

(3) 令和5年度の事業および予算の概要

琵琶湖をはじめとする公共水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現するため、本年度は4処理区あわせて160,550千㎡の汚水を処理する予定としています。

また、管渠の整備工事や、各浄化センター等における設備の改築更新工事、耐震補強工事等を行うこととしています。

○令和5年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
琵琶湖流域下水道事業収益		20,501,900
	営業収益	9,023,304
	営業外収益	11,478,596
琵琶湖流域下水道事業費用		21,438,900
	営業費用	20,869,593
	営業外費用	569,307

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
資本的収入		13,206,200
	企業債	3,349,400
	出資金	891,734
	補助金	6,773,946
	負担金	2,191,120
資本的支出		15,248,900
	建設改良費	11,431,701
	企業債償還金	3,778,944
	返還金	38,255

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填します。